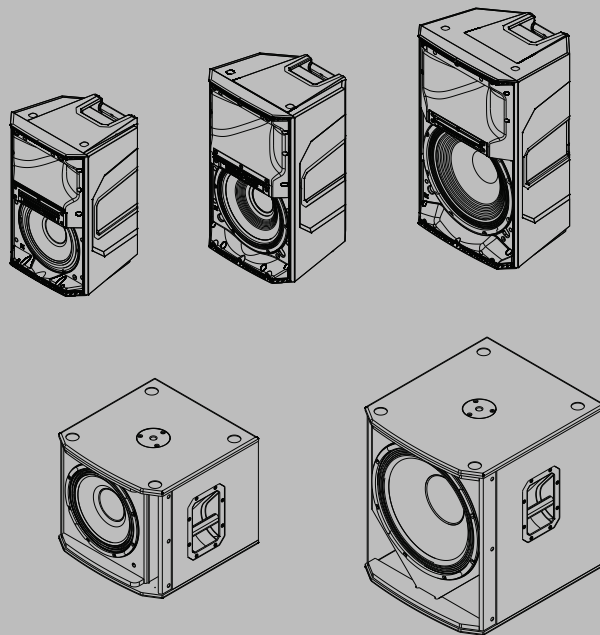


ELX200 Passive Loudspeakers



目次

1	安全性	4
1.1	安全に関する重要事項	4
1.2	吊り下げ	4
1.3	ご注意	4
1.4	注意事項	5
2	製品説明	6
2.1	概要情報	6
2.2	システムの特徴	7
3	スタンドとフロアモニター	9
3.1	スタンドまたはポールマウントへの設置	9
3.2	フロアモニター	11
4	吊り下げ	12
5	推奨構成	15
5.1	フルレンジシステムを使用した基本的なステレオシステム	15
5.2	ステージモニターとして使用する場合	16
5.3	サブウーハーとのフルレンジシステムのスタック	17
6	トラブルシューティング	18
7	テクニカルデータ	19
7.1	寸法	20
7.2	周波数特性	21

1 安全性

1.1 安全に関する重要事項

1. 次の重要事項を確認してください。
2. 次の重要事項を遵守してください。
3. すべての警告に留意してください。
4. すべての重要事項を遵守してください。
5. 本装置は乾いた布以外で清掃しないでください。
6. ラジエータ、暖気吹き出し口、ストーブ、その他の熱発生源（アンプを含む）の近くに本装置を設置しないでください。
7. メーカー指定の付属品やアクセサリを使用してください。
8. カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルはメーカー指定のもの、または装置と同時販売されたものを使用してください。カートを使用する場合は、装置をカートに載せて移動中に転倒して、怪我をすることがないように注意してください。

1.2 吊り下げ



警告!

天井への取り付け工事は危険が伴う場合があるため、真上に機器を設置する技術と規制に関する十分な知識を持つ担当者だけが実施するようにしてください。スピーカーを天吊りする場合、国、連邦、州、地方のすべての最新の法律や規制を考慮することを推奨します。スピーカーを安全に吊り下げる事は設置者の責任です。Electro-Voice では、スピーカーを吊り下げる場合、最低年 1 回または法律や規制で定められた頻度でシステムを点検することを推奨しています。弱い部分または破損の兆候が見つかった場合は、直ちに改善措置を講じてください。壁または天井がスピーカーの荷重に耐えるかどうかの確認は、お客様の責任です。Electro-Voice 製ではない吊り下げ金具を使用するときは、その製造会社に責任があります。



警告!

このマニュアルまたは Electro-Voice 設置ガイドに明確に説明されている以外の方法で、この製品を吊り下げないでください。ハンドルを使って、スピーカーを吊り下げないでください。Electro-Voice スピーカーのハンドルは、搬送時に一時的に使用することのみを用途としています。ファイバロープ、ワイヤロープ、ケーブル、その他の資材をハンドルに取り付けてスピーカーを吊り下げることはできません。

1.3 ご注意

	Electro-Voice スピーカーは、0°C (32°F) 以下または +40°C (104°F) を超える環境で使用しないでください。
	スピーカーを雨水、高湿度にさらさないでください。
	Electro-Voice スピーカーは、カバーエリアの範囲内にいる人が永続的な難聴になるほどの音圧レベルを簡単に生成できます。長時間 90 dB を超える音圧レベルにさらされないように注意してください。

1.4

**注意事項****古い電気・電子機器**

すでに修理対応が終了した電気・電子装置は分別して収集し、環境適合のリサイクルに出すことが義務付けられています (電気・電子機器廃棄物に関する欧州指令に準拠)。

古い電気・電子装置の廃棄には、各国が導入する回収システムを利用してください。

著作権および免責事項

All rights reserved.形態や媒体を問わず、電子的、機械的、フォトコピー、録画、またはその他の方法で、発行者の書面による許可なく本書の内容の一部またはすべてを複製または転送することは禁じられています。情報の転載および引用許可を申請する場合は、Electro-Voiceまでご連絡ください。内容および図は、予告なく変更されることがあります。

2 製品説明

Electro-Voice パッシブラウドスピーカーシステムをご購入いただき、ありがとうございます。本書をお読みになり、EV スピーカーの機能を理解し、その性能をご活用ください。

ROCK SOLID SOUND: Electro-Voice ELX200 ポータブルスピーカー

ELX200 は、ベストセラーの Electro-Voice ポータブルスピーカーファミリーの中でも最も新しいシリーズです。ZLX シリーズの上位、EKX シリーズの下位に当たる ELX200 シリーズは、10 種類のモデル（パワー 5 種類、パッシブ 5 種類）で構成され、10 インチ、12 インチおよび 15 インチの 2 ウエイモデル、12 インチおよび 18 インチのサブウーハーが含まれます。

ELX シリーズは、この価格帯でかつてない音質、運びやすさ、耐久性の組み合わせを実現するように設計されています。業界の水準以上の厳しいレベルでテストされた全く新しいカスタムコンポーネントにより、ELX200 は現場での厳しい環境での使用を十分に考慮した堅牢な製品となっています。

ELX200 は、あらゆる側面が全体の一部として理想的な結果を生み出すように設計され、音響的、電氣的、機械的コンポーネントのすべてが一体となって機能します。フルレンジモデルは、ハイスペックなコンポジットエンクロージャーに合わせたコンパクトなサイズで、重量、扱いやすさ、構造上の完全性のバランスがとれています。サブウーハーは、驚くほどコンパクトなサイズで強力な低音域出力を実現し、高品質なトップコート仕上げを施した 15 mm の木製エンクロージャーを備えています。クラス最高のパフォーマンスを提供する製品として EV ポータブルスピーカーファミリーシリーズの評価を定着させたシグナルシンクロナイズドトランスデューサー（SST）ウェーブガイドコンセプトなどの機能も搭載されています。

EV の業界最先端の品質と試験手順は、効率的なトランスデューサー設計と重要なスペックをもたらし、最高出力レベルでも正確でリニアなレスポンスを生み出すコンポーネントを実現しています。Loud and Clear all the way up to the limit. EV が手がけた最も強固なフルレンジコンポジットエンクロージャーにすべてが統合されています。ELX200 は、音響的にも、物理的にも、堅牢性の新基準としての存在を確立し、最強の堅牢性と最高の効率性を合わせ持つ製品です。

2.1 概要情報

次の表に、ファミリー内の製品の CTN (型式番号) と対応する製品名を示します。

CTN	製品説明
ELX200-10	10 インチ 2 ウエイパッシブスピーカー
ELX200-12	12 インチ 2 ウエイパッシブスピーカー
ELX200-15	15 インチ 2 ウエイパッシブスピーカー
ELX200-12S	12 インチパッシブサブウーハー
ELX200-18S	18 インチパッシブサブウーハー
ELX200-10-W	10 インチ 2 ウエイパッシブスピーカー、白
ELX200-12-W	12 インチ 2 ウエイパッシブスピーカー、白
ELX200-15-W	15 インチ 2 ウエイパッシブスピーカー、白
ELX200-12S-W	12 インチパッシブサブウーハー、白
ELX200-18S-W	18 インチパッシブサブウーハー、白

2.2

システムの特徴

ELX200-10 – 10 インチ 2 ウェイパッシブスピーカーシステム

- 標準的な耐久試験の4 倍の 500 時間以上にわたる乱用試験や耐久性試験で信頼性が実証された、1200 W (ピーク)、127 dB ピーク(SPL) システムです。
- トランスペアレントな高域特性を伸ばした 1.4 インチ DH-1L (1 インチ出口) チタニウムコンプレッションドライバー。
- 優れた耐久性と低域再現性が要求される厳しい仕様に合わせて設計された、高出力 EVS-10M ウーファー。
- EV が特許を取得したシグナルシンクロナイズドトランスデューサー (SST) ウェーブガイドデザインにより、正確かつ安定したカバーエリア、最小限の歪み、最大限の音響負荷を実現します。
- プログレードのハードウェア：鍛造済みアイボルト用 M10 ねじ穴付き取り付けポイント 3 か所、一体型ポールマウント、持ち上げが楽な実績ある ZLX ツーハンドル設計。

ELX200-12 – 12 インチ 2 ウェイパッシブスピーカーシステム

- 典型的な工業的手法の 4 倍の 500 時間以上にわたる乱用試験や耐久性試験で信頼性が実証された、1200 W (ピーク)、128 dB ピークの SPL システム
- トランスペアレントな高域特性を伸ばした 1.4 インチ DH-1L (1 インチ出口) チタニウムコンプレッションドライバー。
- 優れた耐久性と低域再現性が要求される厳しい仕様に合わせて設計された、高出力 EVS-12M ウーファー。
- EV が特許を取得したシグナルシンクロナイズドトランスデューサー (SST) ウェーブガイドデザインにより、正確かつ安定したカバーエリア、最小限の歪み、最大限の音響負荷を実現します。
- プログレードのハードウェア：鍛造済みアイボルト用 M10 ねじ穴付き取り付けポイント 3 か所、一体型ポールマウント、持ち上げが楽な実績ある ZLX スリーハンドル設計。

ELX200-15 – 15 インチ 2 ウェイパッシブスピーカーシステム

- 典型的な工業的手法の 4 倍の 500 時間以上にわたる乱用試験や耐久性試験で信頼性が実証された、1200 W (ピーク)、130 dB ピークの SPL システム
- トランスペアレントな高域特性を伸ばした 1.4 インチ DH-1L (1 インチ出口) チタニウムコンプレッションドライバー。
- 優れた耐久性と低域再現性が要求される厳しい仕様に合わせて設計された、高出力 EVS-15M ウーファー。
- EV が特許を取得したシグナルシンクロナイズドトランスデューサー (SST) ウェーブガイドデザインにより、正確かつ安定したカバーエリア、最小限の歪み、最大限の音響負荷を実現します。
- プログレードのハードウェア：鍛造済みアイボルト用 M10 ねじ穴付き取り付けポイント 3 か所、一体型ポールマウント、持ち上げが楽な実績ある ZLX スリーハンドル設計。

ELX200-12S – 12 インチパッシブサブウーハーシステム

- 力強いサウンドになるようにデザインおよび設計された高感度トランスデューサー。1600 W (ピーク)、129 dB ピークの SPL。
- 優れた耐久性と低域再現性が要求される厳しい仕様に合わせて設計された、高出力 EVS-12L ウーファー。
- システムの信頼性は 500 時間以上にわたる乱用試験や耐久性試験で実証されています。
- ポータブルおよびインストール両方に最適。内部ブレーシングおよび耐久性のあるポリウレタントップコート仕上げの軽量でコンパクトな 15 mm 木製エンクロージャ。

- プログレードのハードウェア：M20 ねじ穴付き一体型ポールマウントプレート、持ち上げが楽なツートハンドル設計。

ELX200-18S – 18 インチパッシブサブウーハーシステム

- 力強いサウンドになるようにデザインおよび設計された高感度トランスデューサー。1600 W (ピーク)、133 dB ピークの SPL。
- 優れた耐久性と低域再現性が要求される厳しい仕様に合わせて設計された、高出力 EVS-18L ウーファー。
- システムの信頼性は 500 時間以上にわたる乱用試験や耐久性試験で実証されています。
- ポータブルおよびインストール両方に最適。内部ブレーシングおよび耐久性のあるポリウレアトップコート仕上げの軽量でコンパクトな 15 mm 木製エンクロージャ。
- プログレードのハードウェア：M20 ねじ穴付き一体型ポールマウントプレート、持ち上げが楽なツートハンドル設計。

3 スタンドとフロアモニター

3.1 スタンドまたはポールマウントへの設置

ELX200-10、ELX200-12 およびELX200-15 スピーカーは、スタンドまたはサブウーハーの上にあるポールに取り付けます。

スタンドへの取り付け

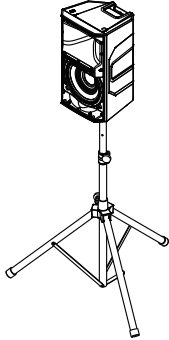


図 3.1: スタンドに取り付けたフルレンジモデル



注意!

本スピーカーについて、三脚の安全性は評価されていません。三脚スタンドの仕様を参照し、本スピーカーの重量に耐えられることを確認してください。

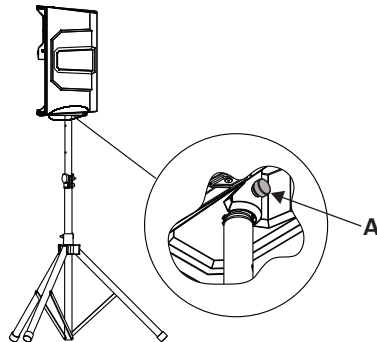


注意!

重量があるスピーカーは、2人以上で持ち上げて設置することを推奨します。スピーカーが重い場合に、1人で持ち上げや配置を行うと怪我をする恐れがあります。

スピーカーをスタンドに取り付けるには、次の手順を行ってください。

1. スタンドを安定した面に置きます。
 - スタンドの脚を完全に伸ばします。
 - スタンドを「さらに高く」するなど、その構造上の完全性を損なわないようにしてください。
 - 1台用のスピーカースタンドに複数のスピーカーを取り付けないでください。
2. スピーカーを両手で持ち上げます。
3. スピーカーの底部にあるポールカップをポールに取り付けます。
4. つまみネジ (A) を締めて、スピーカーをポールに固定します。
つまみネジは 12 インチおよび 15 インチフルレンジスピーカーモデルにしか使用できません。
10 インチフルレンジスピーカーには、つまみネジは付属しません。



スピーカーをポールに取り付ける

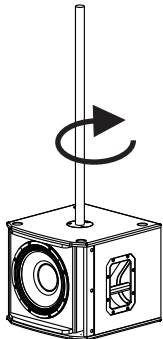


注意!

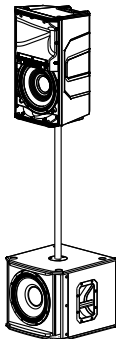
重量があるスピーカーは、2人以上で持ち上げて設置することを推奨します。スピーカーが重い場合に、1人で持ち上げや配置を行うと怪我をする恐れがあります。

スピーカーをポールに取り付けるには、次の手順を行ってください。

1. サブウーハーを安定した場所に置きます。
2. M20 ねじ山付きポールをサブウーハー上部のコンボポールカップに挿入します。
3. M20 ねじ山付きポールを時計回りに回し、ポールをサブウーハーに固定します。



4. スピーカーを両手で持ち上げます。
5. スピーカーの底部にあるポールカップをポールに取り付けます。
6. つまみネジを締めて、スピーカーをポールに固定します。
つまみネジは 12 インチおよび 15 インチフルレンジスピーカーモデルにしか使用できません。
10 インチフルレンジスピーカーには、つまみネジは付属しません。



3.2 フロアモニター

ELX200-10、ELX200-12、ELX200-15 スピーカーは、モニター角度で配置してフロアモニターとして使用できます。

スピーカーをフロアモニターとして使用するには、次の手順を行ってください。

1. スピーカーを安定した面に置きます。
2. 出演者、製作スタッフ、聴衆がケーブルにつまずかないよう、ケーブルを安全に配線します。



注記!

可能な場合はいつでも、ワイヤータイやテープでケーブルを固定してください。

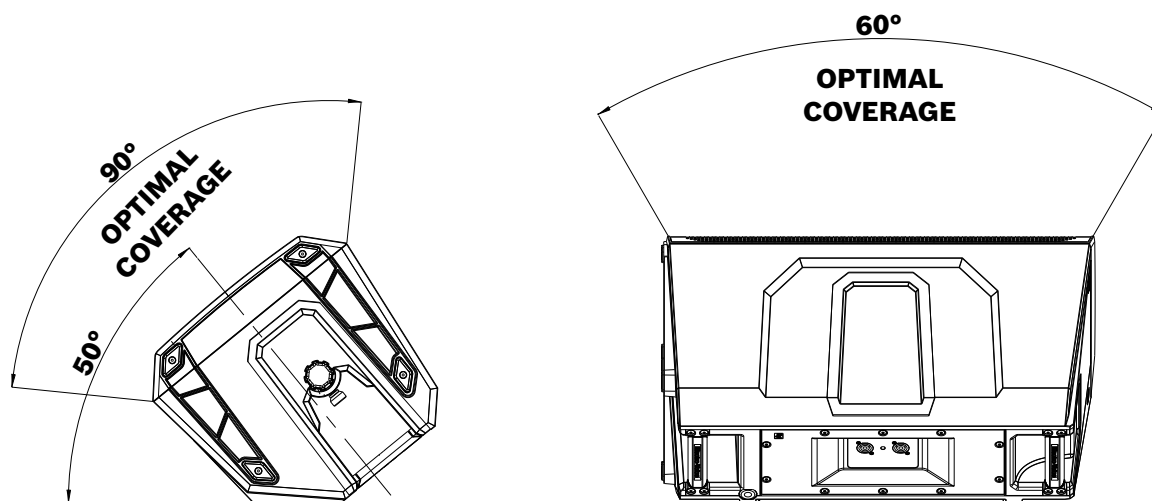


図 3.2: モニター位置での最適なカバーエリア (左側面および右前面)

4 吊り下げ

ELX200 のエンクロージャーには、M10 ねじ山付きポイントが 3 か所 (上部に 2 か所、底部に 1 か所) あります。個々のスピーカーを吊り下げるには、頭上吊り下げ用として評価されている鍛造済みシヨルダーアイボルト (EBK1-M10-3PACK アクセサリなど) を使用できます。



警告!

天井への取り付け工事は危険が伴う場合があるため、真上に機器を設置する技術と規制に関する十分な知識を持つ担当者だけが実施するようにしてください。スピーカーを天吊りする場合、国、連邦、州、地方のすべての最新の法律や規制を考慮することを推奨します。スピーカーを安全に吊り下げる事は設置者の責任です。Electro-Voice では、スピーカーを吊り下げる場合、最低年 1 回または法律や規制で定められた頻度でシステムを点検することを推奨しています。弱い部分または破損の兆候が見つかった場合は、直ちに改善措置を講じてください。壁または天井がスピーカーの荷重に耐えるかどうかの確認は、お客様の責任です。Electro-Voice 製ではない吊り下げ金具を使用するときは、その製造会社に責任があります。

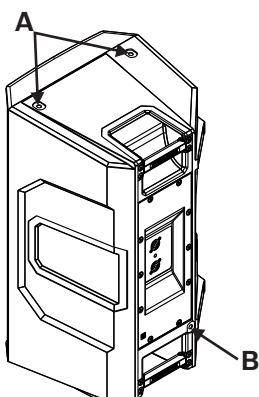


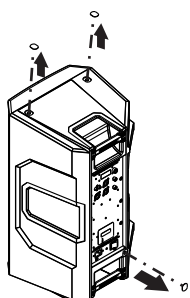
図 4.1: 吊り下げポイント (A 上部、B 底部)

使用前に、吊り下げポイントとその金具に、吊り下げポイントの強度を低下させるような亀裂、変形、溶接割れ、腐食、コンポーネントの抜け落ちまたは損傷がないか点検してください。損傷している金具は交換してください。吊り下げポイントの限度または最大推奨荷重を超えないようにしてください。追加の安全対策として、建物の構造支柱にもう一つ吊り下げポイントを設置することをお勧めします。この安全強化のため追加した安全ポイントは緩みをできるだけ少なくしてください (1 インチ未満が望ましい)。使用前に毎回、スピーカーのエンクロージャに強度を低下させる亀裂、変形、コンポーネントの抜け落ちや損傷がないか点検してください。損傷や金具の抜け落ちがあるスピーカーシステムは交換してください。

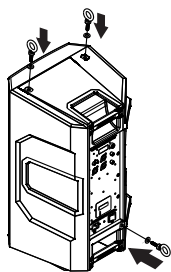
アイボルトの取り付け

アイボルトを取り付けるには、次の手順に従います。

1. 吊り下げポイントからフライポイントカバー 3 個を取りはずします。



2. 吊り下げポイントに M10 アイボルトとワッシャを取り付けます。

**警告!**

アイボルトは完全に固定され、引っ張る面に向いている必要があります。筐体にかかる負荷を分散させるため、必ずアイボルトの下にワッシャを使用してください。

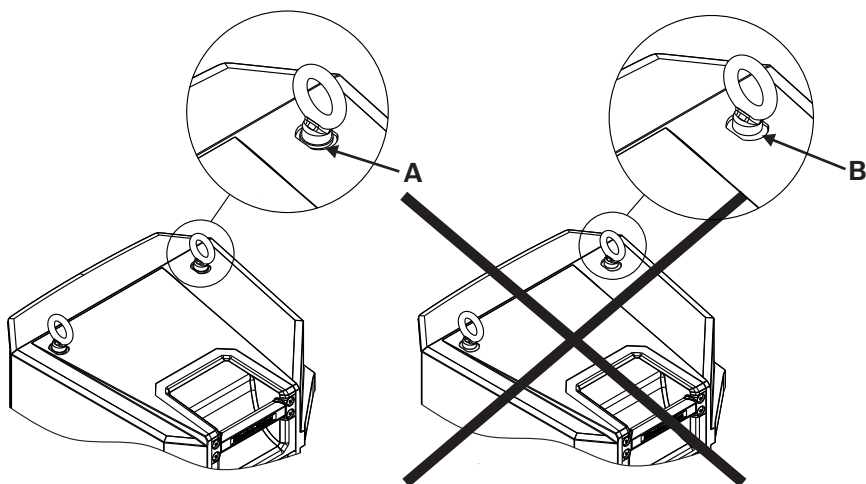


図 4.2: ワッシャありのアイボルト (A) とワッシャなしのアイボルト (B)

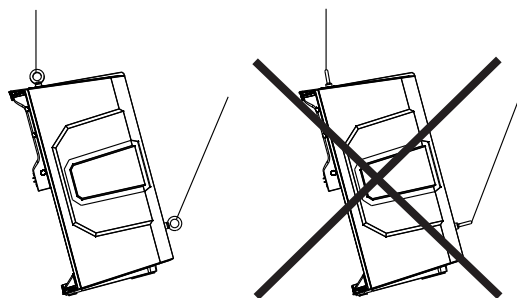


図 4.3: 引っ張る面に向いているアイボルト (左は正しい例、右は誤りの例)

**警告!**

Electro-Voice スピーカーの限度または最大推奨荷重を超えないようにしてください。この警告に従わない場合、死傷者が出る可能性があります。

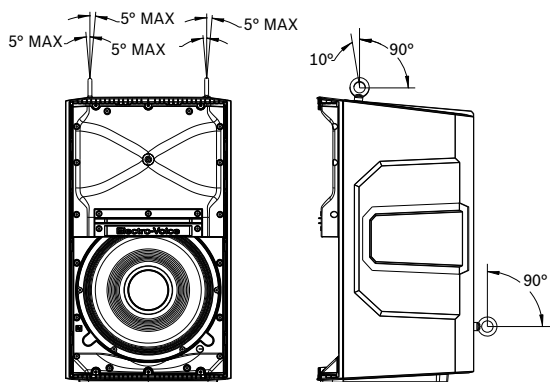


図 4.4: 最大使用荷重 - 吊り下げポイント当たり、垂直向きに 50 lb



警告!

複数のELX200シリーズのスピーカーを垂直に吊り下げるとは絶対にしないでください。
この警告に従わない場合、死傷者が出る可能性があります。

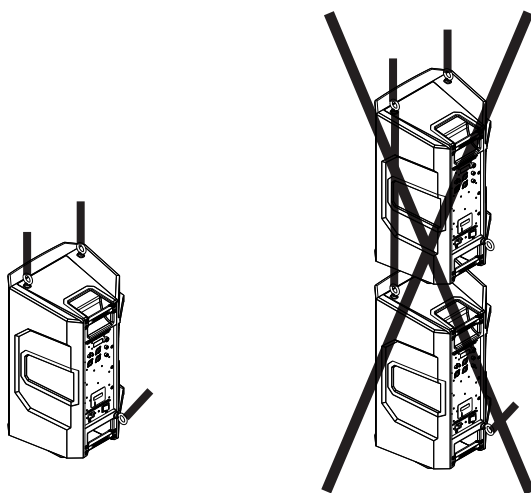
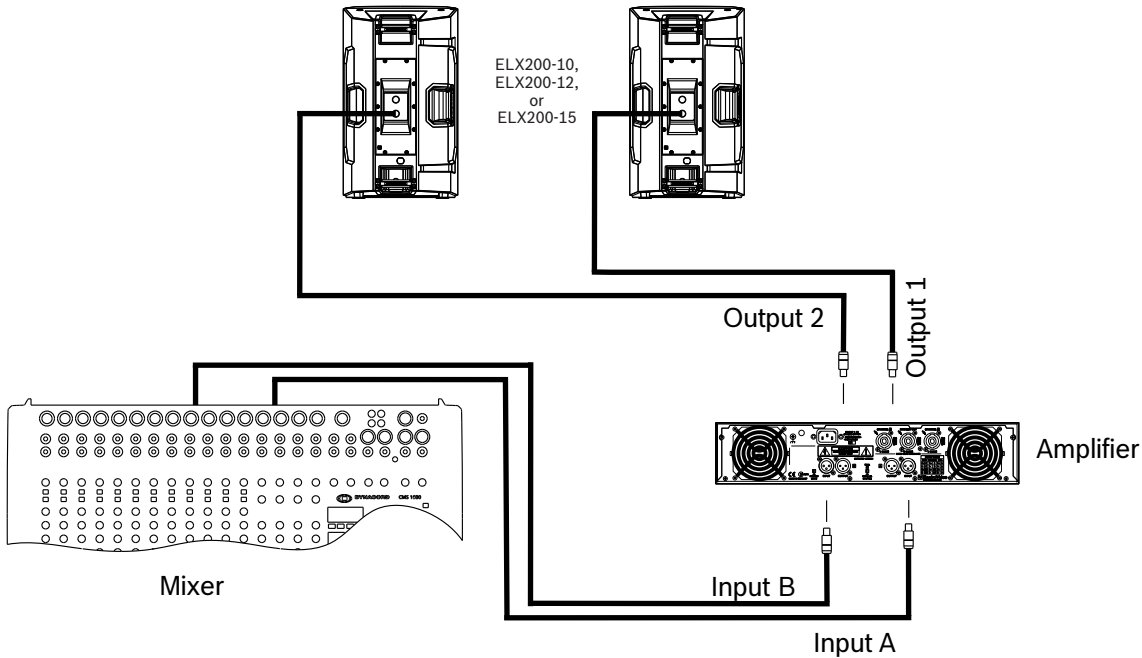


図 4.5: スピーカーの垂直吊り下げ (左が正しい例、右は誤りの例)

5 推奨構成

5.1 フルレンジシステムを使用した基本的なステレオシステム

ELX200-10、ELX200-12、または ELX200-15 スピーカーを使用した基本的なステレオシステム (図は ELX200-15 バージョン) 。



NL4 ピン構成	
ピン 1+ とピン 1-	使用
ピン 2+ とピン 2-	非使用



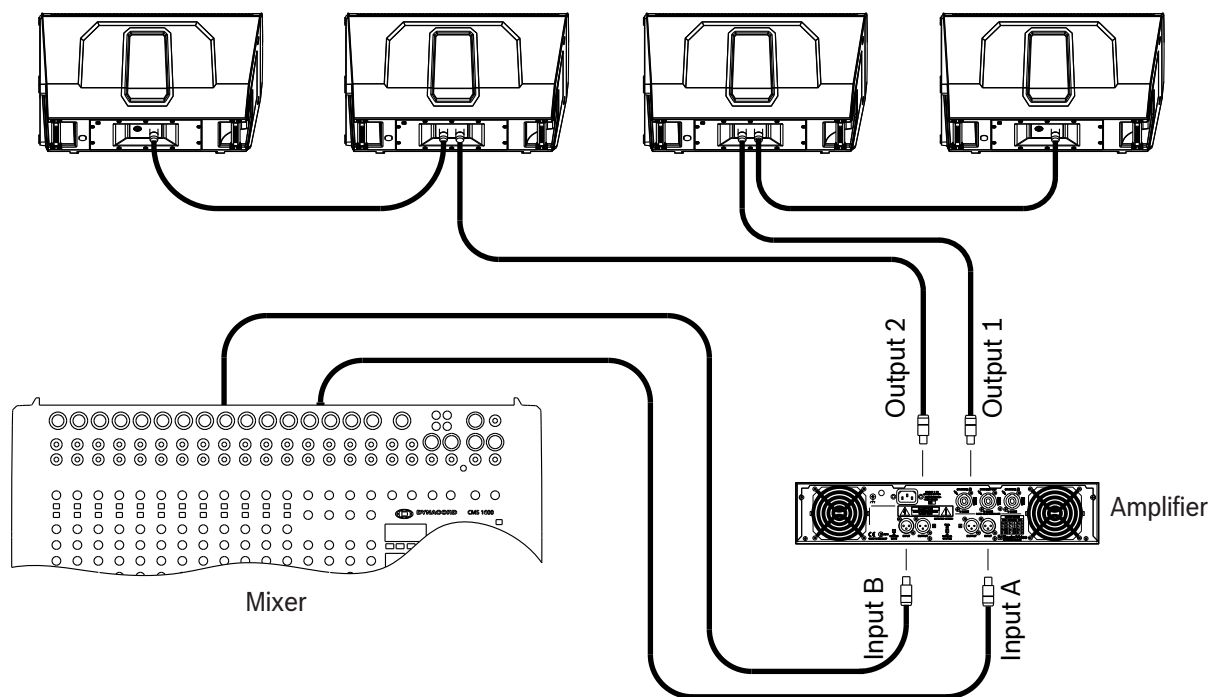
注意!

アンプの最大負荷定格を超えないようにしてください。

アンプの負荷 (出力チャンネルあたり)		
スピーカー台数	公称値	最小値
1	8 Ω	7.2 Ω
2	4 Ω	3.6 Ω
3	2.7 Ω	2.4 Ω
4	2 Ω	1.8 Ω

5.2 ステージモニターとして使用する場合

モニター位置での複数の ELX200-10、ELX200-12、または ELX200-15 スピーカー（図は ELX200-15 バージョン）。



NL4 ピン構成	
ピン 1+ とピン 1-	使用
ピン 2+ とピン 2-	非使用



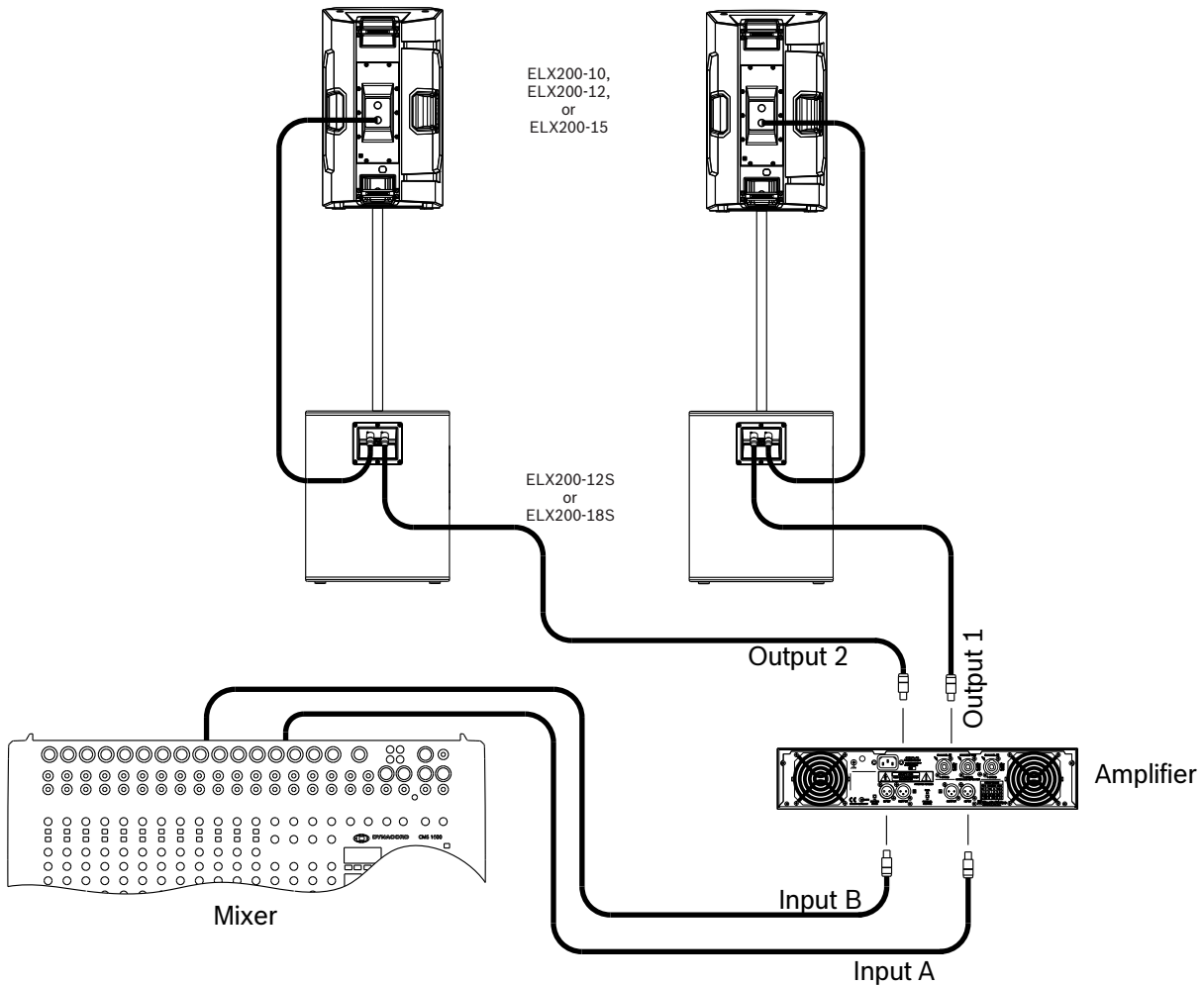
注意!

アンプの最大負荷定格を超えないようにしてください。

アンプの負荷 (出力チャンネルあたり)		
スピーカー台数	公称値	最小値
1	8 Ω	7.2 Ω
2	4 Ω	3.6 Ω
3	2.7 Ω	2.4 Ω
4	2 Ω	1.8 Ω

5.3 サブウーハーとのフルレンジシステムのスタック

この構成により、ユーザーは追加のアンプチャンネルを使用せずに低域周波数性能を向上させることができます (図は ELX200-15 および ELX200-18S バージョン)。



NL4 ピン構成	
ピン 1+ とピン 1-	使用
ピン 2+ とピン 2-	非使用



注意!
アンプの最大負荷定格を超えないようにしてください。

アンプの負荷 (出力チャンネルあたり)		
サブウーファー/フルレンジの組み合わせの数	公称値	最小値
1	4 Ω	3.8 Ω
2	2 Ω	1.9 Ω

6 トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対応策
1. 音が出ない	アンプの問題	正しく鳴ることが分かっているテストスピーカーをアンプ出力に接続します。音が聞こえない場合は、電子機器がすべてオンになっていること、信号ルーティングが正しいこと、音源がアクティブであること、ボリュームを上げていることなどをチェックし、必要に応じて修正/修理/交換してください。音が出る場合は、配線に問題があります。
	配線の問題	正しいケーブルをアンプに接続したことを確認します。アンプを通して何か音楽を小さな音量で再生します。テスト用スピーカーを、故障しているラインと並列に接続します。サウンドレベルが消えている、または非常に弱い場合、ショートしています。問題が解決するまで、テスト用スピーカーを使用し、ラインを移動して各接続 / 接続部のテストをします。極性が正しいかも確認してください。
2. 低域特性が不十分	極性を無視してスピーカーに配線されている	2つのスピーカーを極性を無視して接続すると、低周波数は互いに相殺されます。スピーカーワイヤのワイヤマークやトレーサーを注意深く確認してください。アンプ (+) 端子を NL4 コネクタのピン 1+ に、アンプ (-) 端子を NL4 コネクタのピン 1- に接続していることを確認します。
3. 断続的なパチパチというノイズやひずみ雑音がある	接続不良	アンプとスピーカーのすべての接続をチェックし、ケーブルに汚れがなくしっかりと接続されていることを確認してください。問題が解決しない場合は、配線をチェックします。問題 1 を参照してください。
4. ブーツ、シューツ、ブーンといったノイズが絶えず鳴る	音源またはその他の電子機器の不具合	何も再生していないのにノイズが解決しない場合、必要に応じて各コンポーネントを調べ、問題を特定してください。おそらく電子機器の信号チェーンに原因があります。
	システムのグラウンドが不適切、またはグラウンドループが発生している	必要に応じてシステムグラウンドをチェックし、修正してください。

上記の対策を講じても問題を解決できない場合は、購入元の Electro-Voice 販売店または Electro-Voice 代理店にお問合わせください。

7 テクニカルデータ

ELX200-10、ELX200-12 および ELX200-15

	ELX200-10	ELX200-12	ELX200-15
周波数特性 (-3 dB) ¹ :	65 Hz – 20 kHz	77 Hz – 17 kHz	77 Hz – 16 kHz
周波数レンジ (-10 dB) ¹ :	49 Hz – 22 kHz	51 Hz – 20 kHz	52 Hz – 19 kHz
軸感度 ¹ :	90 dB	93 dB	95 dB
最大音圧レベル (SPL) ^{1,2} :	127 dB	128 dB	130 dB
推奨ハイパス周波数 :	55 Hz	50 Hz	42 Hz
公称指向角度 (水平 × 垂直) :	90° × 60°		
許容入力 :	300 W 長時間連続、1200 W ピーク		
LF トランスデューサー :	EVS-10M 254 mm (10 インチ)	EVS-12M 300 mm (12 インチ)	EVS-15M 381 mm (15 インチ)
HF トランスデューサー :	DH-1L 1 インチ チタンコンプレッションドライバー		
クロスオーバー周波数 :	2 kHz	1.7 kHz	1.6 kHz
公称インピーダンス :	8 Ω		
最小インピーダンス :	7.2 Ω	7.5 Ω	7.0 Ω
入カコネクタ :	デュアル NL4		
仕上げ :	ポリプロピレン		
グリル :	18 AWG 粉体塗装鋼		
吊り下げ :	(3) M10 吊り下げポイント		
色 :	黒または白		
寸法 (高さ × 幅 × 奥行き) : mm (インチ)	531 × 330 × 319 (21.0 × 13.0 × 12.6)	629 × 363 × 344 (24.8 × 14.3 × 13.6)	710 × 423 × 384 (28.0 × 16.6 × 15.1)
本体重量 :	13.4 kg (29.6 lb)	15.2 kg (33.4 lb)	18.7 kg (41.2 lb)
梱包重量 :	15.3 kg (33.7 lb)	17.1 kg (37.7 lb)	21.4 kg (47.2 lb)

¹フルスペース測定。

²最大 SPL は最大出力時、ピンクノイズを発生させて 1 メートル離れたところで測定。
ELX200-12S および ELX200-18S

	ELX200-12S	ELX200-18S
周波数特性 (-3 dB) ¹ :	42 Hz – 220 Hz	45 Hz – 200 Hz
周波数レンジ (-10 dB) ¹ :	33 Hz – 300 Hz	28 Hz – 300 Hz
軸感度 ¹ :	93 dB	94 dB
最大音圧レベル (SPL) ^{1,2} :	129 dB	133 Hz
推奨ハイパス周波数 :	42 Hz	35 Hz
許容入力 :	400 W 長時間連続、1600 W ピーク	

	ELX200-12S	ELX200-18S
LF トランスデューサー :	EVS-12L 300 mm (12 インチ)	EVS-18L 457 mm (18 インチ)
公称インピーダンス :	8 Ω	
最小インピーダンス :	6.9 Ω	7.2 Ω
入力コネクタ:	デュアル NL4	
仕上げ:	耐久性のあるポリウレアトップコート仕上げの 15 mm ベニヤ板	
グリル :	18 AWG 粉体塗装鋼	
色 :	黒または白	
寸法 (高さ × 幅 × 奥行き) :	397 × 445 × 457 mm (インチ) 16.7 × 17.6 × 18.0	600 × 507 × 574 23.7 × 20.0 × 22.6
本体重量:	17.2 kg (38.0 lb)	26.6 kg (58.7 lb)
梱包重量 :	20.2 kg (44.6 lb)	30.5 kg (67.3 lb)

¹ハーフスペース測定。

²最大 SPL は最大出力時、ピンクノイズを発生させて 1 メートル離れたところで測定。

7.1 寸法

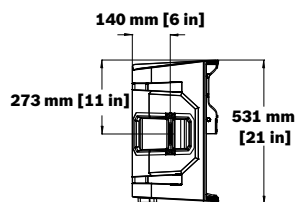


図 7.1: ELX200-10 の寸法

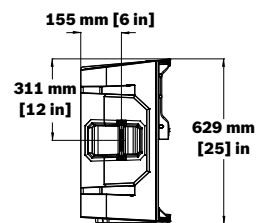
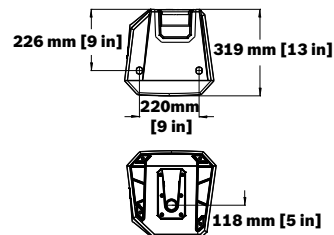
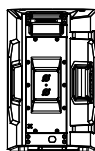
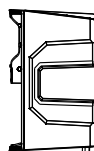
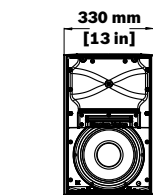


図 7.2: ELX200-12 の寸法

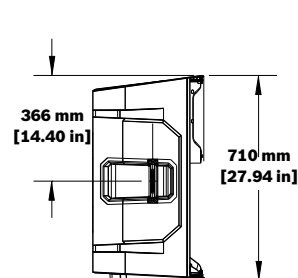
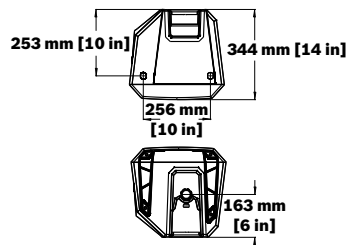
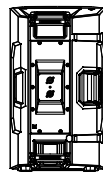
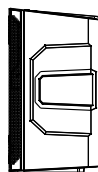
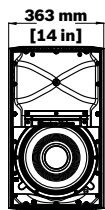
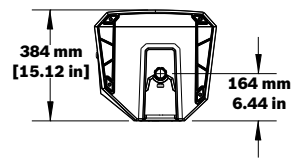
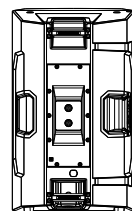
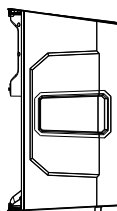
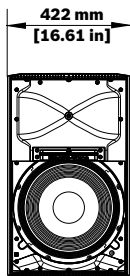


図 7.3: ELX200-15 の寸法



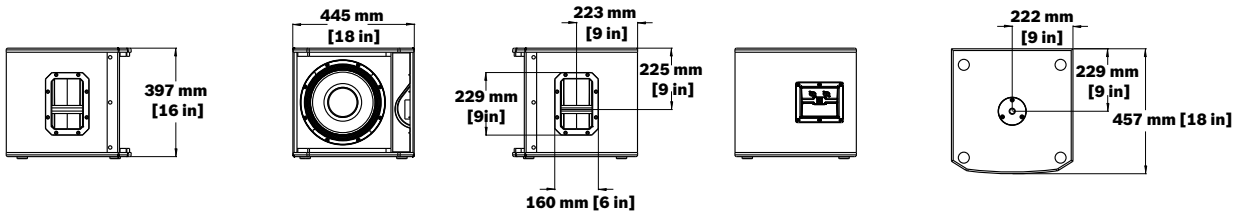


図 7.4: ELX200-12S の寸法

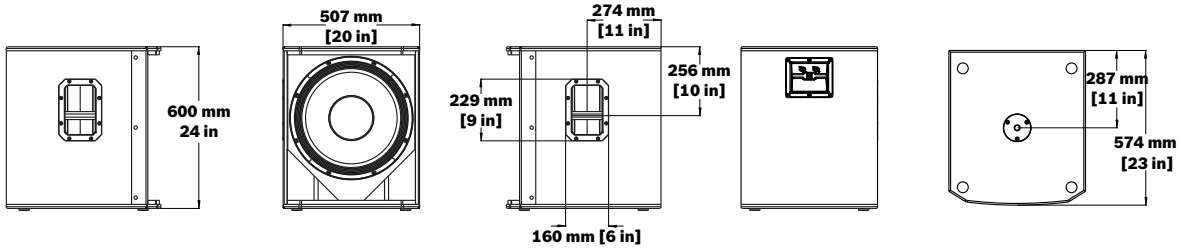


図 7.5: ELX200-18S の寸法

7.2

周波数特性

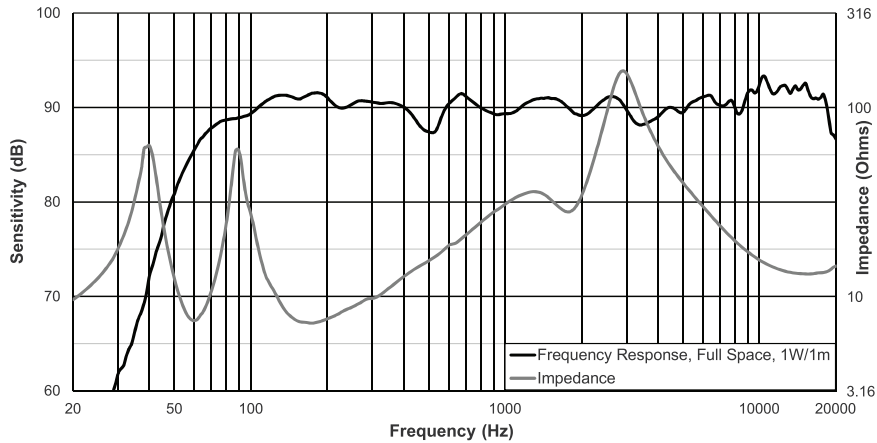


図 7.6: ELX200-10 の周波数特性とインピーダンス

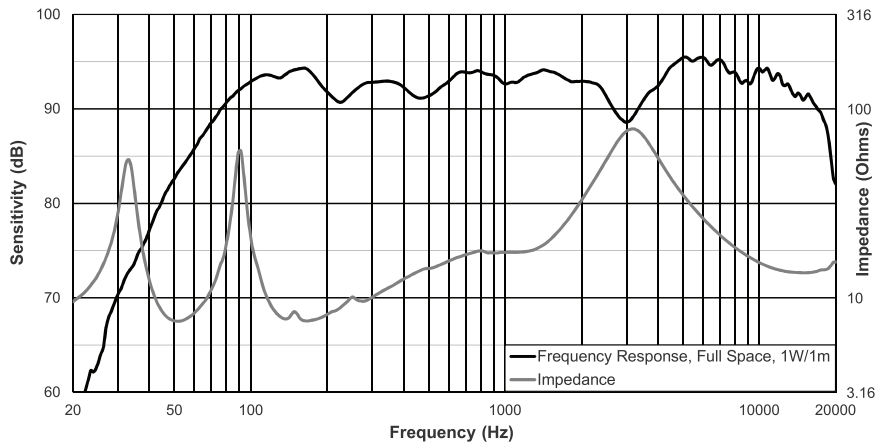


図 7.7: ELX200-12 の周波数特性とインピーダンス

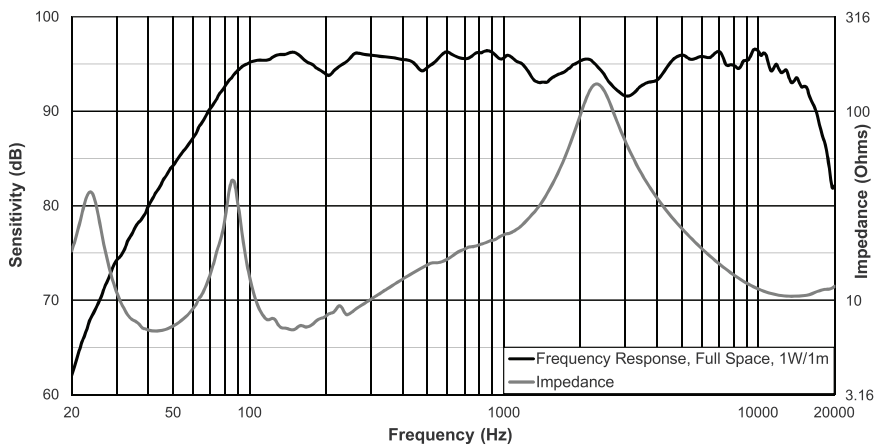


図 7.8: ELX200-15 の周波数特性とインピーダンス

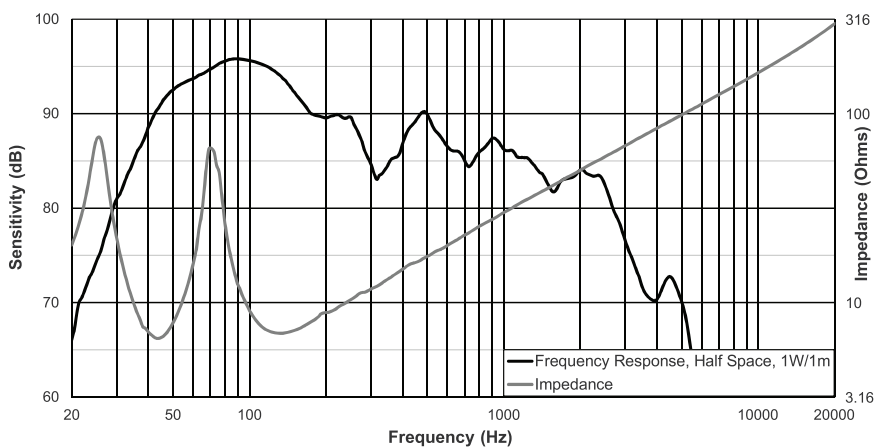


図 7.9: ELX200-12S の周波数特性とインピーダンス

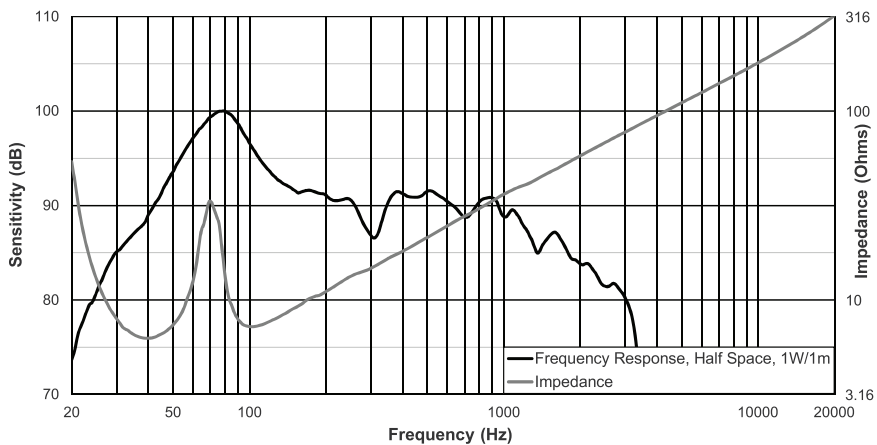
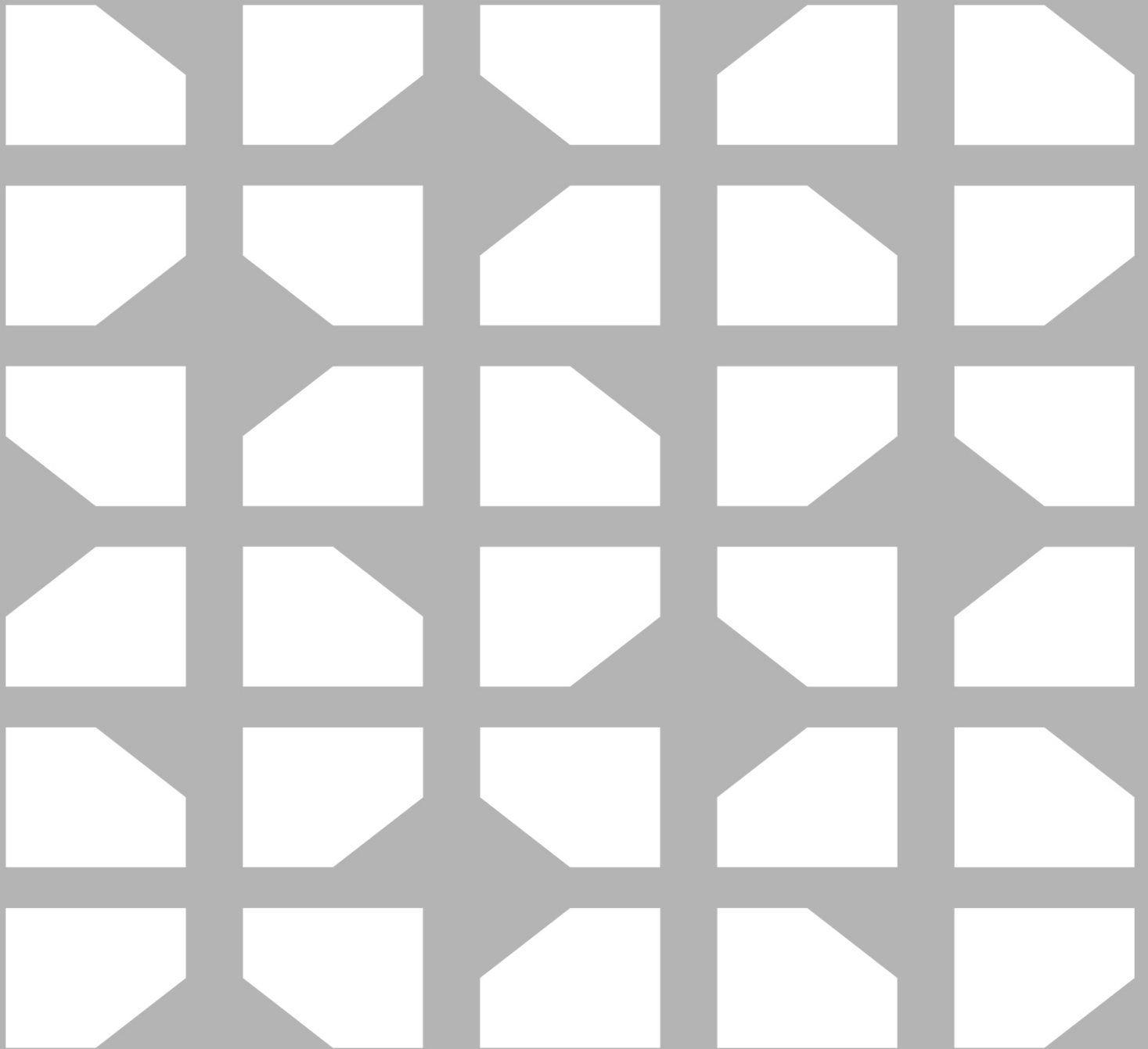


図 7.10: ELX200-18S の周波数特性とインピーダンス



Electro-Voice Dynacord LLC

130 Perinton Parkway

Fairport, NY 14450

USA

www.electrovoice.com

© Electro Voice Dynacord 2026

EU importer:

EVI Audio GmbH

Sachsenring 60

94315 Straubing

Germany

© EVI Audio GmbH, 2026